

普及現地情報



発信年月日：令和3年（2021年）9月15日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C21016
部門分類：140（飼料作物）
発信者名：小椋、谷口

飼料用トウモロコシの収穫が始まりました

甲賀地域では、甲賀市、農協、コントラクター組織と連携し、飼料用トウモロコシの作付面積の拡大を図っており、今年度は約26ha作付けされています。当課では、トウモロコシのサイレージ品質の向上に向けた普及活動に取り組んでおり、そのトウモロコシの収穫が8月中旬頃から始まっています。

甲賀管内では、これまで適期播種が徹底できておらず、作付面積が増えるにつれて登熟不足や刈り遅れ等による品質低下が課題となっていました。そこで、今年度は、利用農家の品質に対する要望やコントラクター組織（収穫作業請負組織）の作業スケジュールを考慮し、早生品種の導入とともに4月上～中旬播種を推進し、例年に比べて播種スケジュールを前倒しにした作型に取り組みました。4月中旬までに播種されたトウモロコシは、8月中旬～下旬に収穫適期を迎え、水分含量を確認しつつ収穫作業が進められています。

また、今年度は、新しい専用収穫機が導入されたことから、ロールの標準的な重量に変化がないか確認するため、改めてロールの重量測定を行いました。今後は、すべての生産者のロールを測定し、品種や作付けほ場の条件、収穫時の水分含量等を考慮してロールの標準重量を決定することにしています。

今作の収穫作業は今後、稲WCSの後、晩生のトウモロコシと作業が続きますので、当課も引き続き飼料用トウモロコシの品質向上に向けた支援を行っていきます。



専用収穫機での収穫作業



ロール重量を測定中